

## 甲府市熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要綱

(試行対象工事)

### 第1 対象工事

主たる工種が屋外作業である工事を対象（営繕工事を除く）とする。ただし、主たる工種が屋内作業の場合であっても空調設備等がなく屋内環境が屋外と同等と認められる場合は対象とすることができる。

(適用範囲)

第2 本要綱は、令和8年6月8日以降に契約した工事を対象とする。ただし、令和8年6月7日以前に契約した工事であっても、受注者が希望する場合には、受発注者協議により適用ができるものとする。

(用語の定義)

第3 真夏日とは、以下の該当する日とする。

① 気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30度(℃)以上の日であるか、施工場所から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)が日最高25度(℃)以上の日。

② 夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温が30度(℃)以上であるか、施工場所から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)が日最高25度(℃)以上の日。

ただし、休工日については、真夏日として計上しないものとする。

### 2 対象工期

① 対象工期は、工事着手日から工期終了日の20日前（終了日を含む）までの期間とする、ただし、変更契約手続き上、現場管理費の補正值の確定が困難となる場合には、受発注者協議により、対象工期を工事着手日から実完成日の20日前までの期間に変更することができる。

② 受注者は、対象工期を施工計画書へ記載する、ただし、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（8月13日～8月15日）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は対象工期に含めない。

※ 工事着手日とは、土木工事共通仕様書における工事着手の日のことをいう。

(手続き)

#### 第4 真夏日の確認

- ① 真夏日の確認は受注者が行うこととする。
- ② 観測所は「甲府市の気象観測所及び観測地点一覧」やWBGTの観測地点によるものとする。
- ③ 受注者は、決定した観測所を施工計画書へ記載する。
- ④ 観測所の公表データは、以下のとおりとする。
  - ・ 日最高気温については、気象庁の地上気象観測所のデータとし、暑さ指数（WBGT）については、環境省の観測地点のデータとする。

#### 2 観測結果の報告

受注者は、真夏日の集計後、速やかに工事打合せ簿により集計表と集計根拠となる観測結果を監督員に提出するものとする。

(積算方法)

#### 第5 現場管理費の補正

現場管理費の補正は、対象工期期間中の真夏日の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算するものとし、補正は変更契約時において行うものとする。

#### 2 真夏日率の算出

以下の式により、真夏日率を算出するものとする。

|                                                               |
|---------------------------------------------------------------|
| $\text{真夏日率} = \text{対象工期期間における真夏日の日数} \div \text{対象工期期間の日数}$ |
|---------------------------------------------------------------|

※ 真夏日率は、小数点以下3 位を四捨五入して2 位止めとする。

#### 3 現場管理費の熱中症対策補正値の算出

以下の式により、熱中症対策補正値を算出するものとする。

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| $\text{熱中症対策補正値（\%）※1} = \text{真夏日率} \times 1.2 \text{（真夏日補正係数）}$ |
|-------------------------------------------------------------------|

※1 熱中症対策補正値（%）は少数点以下3 位を四捨五入して2 位止めとする。

#### 4 熱中症対策に資する現場管理費の算出

以下の式により、現場管理費を算出するものとする。

|                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| $\begin{aligned} \text{現場管理費} = & \text{対象純工事費} \times \{ (\text{現場管理費率} \times \text{補正係数 ※3}) \\ & + (\text{熱中症対策補正值} + \text{補正值 ※4}) + \text{砂防・地すべり工事補正值} \} \end{aligned}$ |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※3 土木工事標準積算基準書における「地域補正の補正係数」を指す。

※4 土木工事標準積算基準書における「施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正」を指す。この補正值が「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においては、（熱中症対策補正值 + 補正值）は最高2%とする。

※ 現場管理費率は小数点少数点以下3 位を四捨五入して2 位止めとする。

#### 附則

この要綱は令和8年6月8日から 施行する

#### 参考資料

##### 甲府市内の観測所

| 観測所名 | 所在地    |
|------|--------|
| 甲府   | 甲府市飯田  |
| 古関   | 甲府市古関町 |

※観測所の選定は、施工現場から最寄りの観測所とする。